

たまがわスタンプラリー

▲ 益田

地図に表示してあるのは主な道のみです。
線の幅(太さ)が、およそその道の規模(広さ)を表しています。
国道191号は対面通行で路肩も広くありません。
交通量もそれほど多いわけではありませんが、大型車の通行が比較的多いので、自転車での走行はオススメしません。

- 地図記号の案内
- 観光地・景勝地
 - お手洗い
 - 自動販売機
 - 食事処、レストラン
 - PR動画撮影場所

飲食店に関して
江崎地区の中心から離れると飲食店、及びコンビニの類は全くありません。
小川のJAで菓子パンくらいは購入できますが、週末はお休みなのでご注意ください。
また飲料の自動販売機も限られた場所にしかありません。

◀ 須佐、萩

石川果樹園でぶどう狩り、いかが？

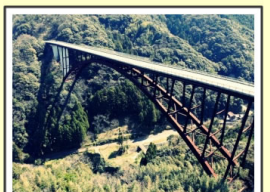
ゆったりした自然の中で、旬のぶどうをどうぞ。
最初に季節のぶどうを試食させて貰えます。
その後、気に入ったぶどうをご自分で収穫！
園内の休憩所でもぎたてを味わえます。
スタンプラリーの休憩にもちょうど良いですよ！

ぶどう狩りは、8月初旬から10月上旬まで
入園無料、もぎ取り料金がかかります。
ぶどうの種類で料金は変わります。

地図上にピンク色で表示している道路は広域農道です。
小川の原山台と平山台をダイレクトに結ぶ広域農道は、
山の中に突如現れた高速道路みたいで驚きます。

片側一車線の対面通行道路ではありますが、高架橋やトンネルで山や谷を貫いている様は正に高規格道路そのもので「なぜこんな田舎の山奥に？」と不思議に思ってしまうに違いありません。

自転車の走行に関して規制はありません。但し途中にあるトンネルは照明が少ないのでご注意ください。



◀ 須佐

須佐大橋経由、
須佐駅まで8km。

◀ 阿東



▼ 伊良尾山

田万川カルデラ

チェックポイントと景品について

- ⑥ 江崎チェックポイント 全3箇所
パークロード展望台、西堂寺、道の駅ゆとりパークたまがわ
【景品】萩りんごジュース
【条件】上記3箇所を全て回る
およそ1時間で廻れます。お手軽なオススメコースです。
- ⑦ 田万川チェックポイント 全5箇所
港海水浴場、尾浦、JR江崎駅、出雲大社長門分院、石川果樹園
【景品】田万川温泉入浴券、もしくは道の駅商品券500円分
【条件】上記5箇所の内、4箇所を回る
2～3時間あれば廻れます。半日コースですが、ランチを挟んで1日ゆっくりお楽しみいただくのがオススメです。
- ⑧ 小川チェックポイント 全6箇所
妙権寺、勝馬田八幡宮、澄川酒造場、武氏八幡宮、龍鱗郷、平山台
【景品】道の駅商品券1000円分
【条件】上記6箇所の内、4箇所を回る
江崎～小川だけで片道およそ10kmありますが、田万川沿いの県道はアップダウン少ないので快走できます！水分補給をこまめに行いお楽しみください。弥富に抜けて須佐経由でも戻って来れます。
- 各チェックポイントではスタンプラリー専用イラストを探し出して、携帯電話のカメラ、またはデジカメで撮影してください。
複数のレベルをクリアしても、景品はお1人1つの贈呈となります。
石川果樹園様、澄川酒造場様には定休日があります。専用イラストは敷地内にある為、定休日にはご利用いただけません。

各エリア間の距離

- 道の駅ゆとりパークたまがわ → 下小川(社団福祉法人EGF様辺り)
県道17号経由 およそ7.3km ほぼ平坦 所要30～40分
- 道の駅ゆとりパークたまがわ → 中小川(田万川総合事務所小川支所辺り)
県道17号14号経由 およそ9.7km ほぼ平坦 所要40～60分
- 中小川 → 弥富(須佐総合事務所弥富支所辺り)
県道14号経由 およそ6.7km ゆるやかな上り 所要30～40分
県道306号124号経由 およそ10.5km ゆるやかな上り 所要40～60分
- 弥富(須佐総合事務所弥富支所辺り) → 須佐駅(地図外)
国道315号経由 およそ11.8km ゆるやかに上ってから急な下り 所要40～60分
※須佐→弥富の所要時間は60～90分。
- 須佐駅(地図外) → 道の駅ゆとりパークたまがわ
国道191号経由 およそ7.9km ほぼ平坦 所要30～40分

益田 ▶

火山の恵み、田万川カルデラと溶岩台地

今からおよそ1億年も前。恐竜が繁栄していた時代。まだ日本列島が大陸の一部だった時代に、現在の田万川カルデラを形成した大規模噴火が起きたと考えられています。

弥富から小川の上の原台地にかけての田万川沿いの谷は「龍が通った道」とよばれています。これは今からおよそ40万年前、伊良尾山(いらおやま)からの溶岩流が谷を埋めるように流れ下ったルートです。川沿いにある畳ヶ淵や龍鱗郷などに、溶岩流の痕跡を見ることが出来ます。その後、田万川などの川の流れにより削り取られ、現在も溶岩の台地が残る部分が原山台や上の原台地となります。

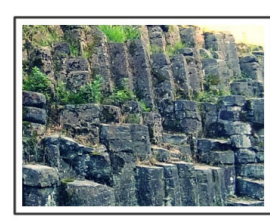
こうして形成された溶岩台地は平らなため日当たりが良く、また溶岩が風化した土は水持ちが良いうえに水はけも良く、まさに畑作に適した土地となります。さらに溶岩台地に浸透した水は豊富な湧水となり台地の下に湧き出る為、田万川沿いでは稲作も盛んです。

柱状節理を間近に見る、龍鱗郷と畳ヶ淵

柱状節理とは冷えて固まった溶岩の柱状の割れ目の節理の事です。溶岩が冷えて固まる時に縮んでひび割れるのですが、均等に縮むと断面の形が六角形になる場合が多いみたいです。畳ヶ淵ではその六角形に縮んだ溶岩台地の表面を観察する事ができます。



均等に縮むのは表面だけではない為、冷えて固まった溶岩は六角形の柱が並んで圧縮されたような形状になります。龍鱗郷ではその柱状の断面を観察する事ができます。



▼ 津和野